

手続きかんたん！

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」（ボラサポ・九州）
「住民支え合い活動助成」をスタートします。

あなたの団体の活動を応援できる助成金があります

「平成28年熊本地震」の甚大な被害を受け、赤い羽根の中央共同募金会はボランティアグループやNPOなど「支える人」を支える赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」（ボラサポ・九州）を2016年4月から運営しています。2018年3月までに5回の助成を決定し、のべ266団体に5億円あまりを助成してきました。

2018年度、特に被災県（熊本県）内の地元住民による助けあい活動を支援したいと、「住民支え合い活動助成」を開始します。熊本県共同募金会に助成事務を委託、市町村共同募金委員会・支会・分会が窓口となり応募を受け付けることで、ボラサポ・九州よりももっと身近に、もっとすばやく助成を決定することができます。ぜひご活用ください。

■ 以下の項目にすべて当てはまったら、ぜひご応募を！

	項 目	チェック
1	熊本県内のメンバー（複数名）で構成されている非営利団体である	
2	団体の代表と会計が決まっていて、活動を実施・報告できる	
3	被災地域の助け合い活動を行っている [例えば] 仮設住宅自治会が行うサロン活動、子ども会が行う夏祭り、避難先の自治会が行う交流事業、見守り活動 など	
4	これから実施する活動である	

■ こんなに使いやすい「住民支え合い活動助成」

○ほとんどの活動経費が対象になります

[例えば] 活動資材、消耗品費等購入費、備品費、会議費、研修費、謝金、電話等通信費、水道光熱費、印刷費、サロン等の飲食費、運搬費、交通費、ガソリン代等

○応募書は必要最小限の記載のみで大丈夫です

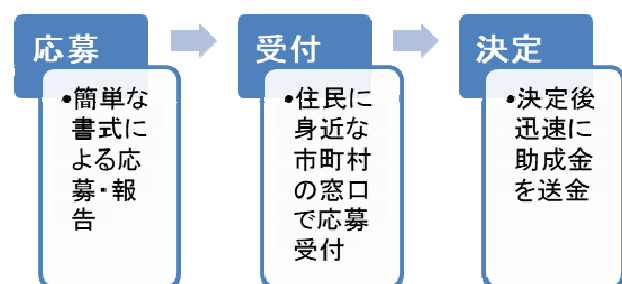
○応募受付期間は2018年9月3日（月）～9月28日（金）

○助成決定は10月末（予定）

※詳しくは熊本県共同募金会のホームページ・応募要項をご覧ください。

住民支え合い活動助成の仕組み

- 1回10万円を上限
- 交流のための企画など、使いみちも比較的 자유
- 助成決定までの期間も短期間に



■ 支え合い助成を活用した団体から寄せられた声
(東日本大震災「住民支え合い活動助成」の例)

☆他の助成金は難しくてわからないけれど、これだったら自分たちでも応募できます！

☆震災後、仮設住宅の方々はどうしたら話ができるだろう、「絆の集い」のようなことができなにか…と会員同士で話していました。実際に開催するには、会費だけではできません。そんな時、この助成金の話を聞き応募しました。助成金のおかげで開催することができ、少しは地域のために役立つことができたのではと思っています。また、仮設住宅の方々と一緒に過ごし、心通わせることができました。ありがとうございました。

■ 支え合い助成を活用した活動(東日本大震災「住民支え合い活動助成」の例)

○遊ビリテーション事業



日本ミュージックケアの協力をいただいてリズム体操や音楽会、お花見会、手作りランチと演芸のつどいなどを開催して住民同士の交流を深めています。保健師さんによる個人健康相談も実施し、大変喜ばれています。みなし仮設から参加された方は、これまで閉じこもりがちでしたが、こちらに参加するようになり顔馴染みも増え、毎回楽しみにしていると話されました。(石巻市のボランティア団体・花雪紅葉会)

○手づくり創作教室や親子ヨガ教室の開催

子供たちを対象に手づくり創作教室を開催し、木材を使ってフクロウやカエルを作成したり、ビーズの腕輪を作成し、手づくりのよさを体験してもらいました。また親子ヨガ教室やともしびコンサートに親子連れで参加された方々は、離れ離れになっていた母親同士が久しぶりに再会し、近況を話し合うなど交流を深めることができました。(角田市のボランティア団体・ティンクルママの会)



■ 問い合わせ先

各市町村共同募金委員会・支会・分会

社会福祉法人熊本県共同募金会

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7

熊本県総合福祉センター内

電話 096-354-3993 ファックス 096-353-4566

ホームページ <http://www.akaihane-kumamoto.jp/>

